

翔
一〇五号



T
O
B
U

百万石蝶談会

December 1993

石川県のタテハチョウ

松井正人

前回 (NO. 103, AUG, 1993) に引き続き、石川県で記録されているタテハチョウを紹介する。

25 ルリタテハ

能登地方に記録は少ないが、県内全域に広く分布する。

年 9月15日	珠洲市山伏山		山本順子	文 献
1986年10月10日	輪島市洲衛	1 頭目撃	松井正人	1034
1983年10月17日	能都町瑞穂	目撃	竹谷宏二	2050
1989年 5月27日	門前町原	1 頭目撃	松井正人	
1982年 3月14日	門前町山辺	1 頭目撃	松井正人	
1990年 5月 6日	門前町西丸山	1 頭目撃	松井正人	
1982年 3月14日	門前町平	1 頭目撃	松井正人	
1989年 9月 9日	富来町高爪山	1 頭目撃	松井正人	
1992年 9月15日	富来町鹿頭	1 頭目撃	松井正人	
1991年10月12日	羽咋市栗原	1 頭目撃	松井正人	
1990年 8月26日	押水町河原	1 頭目撃	松井正人	
1992年 8月29日	押水町宝達山山頂	1 頭目撃	松井正人	
1991年 7月 7日	金沢市医王山見上峠	1 頭目撃	松井正人	
1991年 7月 7日	金沢市榎尾	2 頭目撃	松井正人	
1983年 4月24日	金沢市菊水		金平永二	2041
1984年 6月24日	金沢市曲子原	1 頭目撃	松井正人	
1984年11月 6日	金沢市金沢城跡	1 頭目撃	古見 克	1054
1972年 4月 4日	金沢市見定	1 頭目撃	松井正人	
1972年 5月 3日	金沢市国見山	1 頭	松井正人	
1972年 8月27日	金沢市小平沢	1 頭目撃	松井正人	
1984年 6月24日	金沢市松根	1 頭目撃	松井正人	
1990年 7月26日	金沢市上涌波	2 頭	上田 昇	
1978年 6月 1日	金沢市倉谷川	2 頭目撃	松井正人	2001
1989年10月 7日	金沢市大場	8 幼	松井正人	
1989年 9月 5日	金沢市大平沢	2 頭目撃	松井正人	
1979年 4月10日	金沢市坪野	1 頭目撃	松井正人	
1972年 3月27日	金沢市天池	2 頭目撃	松井正人	
1979年 3月28日	金沢市田島	1 頭目撃	松井暢人	
1979年 4月15日	金沢市東原	2 頭目撃	松井正人	
1971年 8月26日	金沢市湯涌	1 頭目撃	松井正人	
1979年 4月22日	金沢市栃尾	目撃	金平永二	2009
1987年 3月21日	金沢市二俣	2 頭目撃	松井正人	
1977年 8月14日	金沢市尾の谷峰	2 頭目撃	松井正人	
1992年 7月 4日	金沢市菱池	1 頭目撃	松井正人	
1960年 5月22日	鶴来町倉ヶ岳			1010
1978年 7月16日	河内村奥池	1 頭目撃	松井正人	2001
1980年 4月11日	河内村福岡	1 頭目撃	松井正人	
1979年 7月 5日	吉野谷村蛇谷		金平永二	2008
1978年 7月 9日	吉野谷村瀬波川	2 頭目撃	松井正人	2001
1987年 8月30日	尾口村丸石谷	1 頭目撃	松井正人	
1978年 8月15日	尾口村岩間温泉	1 頭目撃	松井正人	
1982年 7月 3日	尾口村中の川	1 頭目撃	松井正人	
1953年 5月16日	尾口村尾添		北浦亀松	9108

文 献

1992年 7月 5日	白峰村市瀬	2 頭目撃	松井正人	
1991年 5月 6日	白峰村小赤谷	1 頭目撃	松井正人	
1992年 6月28日	白峰村大杉谷	1 頭目撃	松井正人	
1992年 7月19日	白峰村白山釈迦林道	1 頭目撃	松井正人	
1992年 6月28日	白峰村白峰	1 頭目撃	松井正人	
1980年 4月 3日	辰口町仏大寺	1 頭	中山佐一郎	9024
1992年 3月14日	辰口町和佐谷大谷	1 頭目撃	松井正人	
1991年 7月 6日	小松市鶴川	目撃	野中 勝	
1979年 4月18日	小松市観音下	1 頭	中山佐一郎	9024
1979年 3月28日	小松市岩渕	1 頭	中山佐一郎	9024
1980年 3月28日	小松市吉竹	1 頭	中山佐一郎	9024
1975年11月 3日	小松市原	1 頭	小坂 巖	9104
1980年 8月 7日	小松市光谷	1 ♀	中山佐一郎	9024
1978年 8月17日	小松市江指	1 ♀	中山佐一郎	9024
1977年 8月17日	小松市今江	1 頭	中山佐一郎	9024
1978年 4月11日	小松市三谷	1 頭	中山佐一郎	9024
1979年 3月20日	小松市上麦口	1 ♀	中山佐一郎	9104
1977年 7月18日	小松市瀬領	1 頭	中山佐一郎	9024
1991年 4月23日	小松市西俣	1 頭目撃	松井正人	
1992年 5月10日	小松市打木	1 頭目撃	松井正人	
1951年 6月10日	小松市大杉谷口	1 頭	浜坂彰則	9104
1990年 3月10日	小松市大野	1 頭目撃	松井正人	
1982年 6月18日	小松市中峠	1 頭	中山佐一郎	9104
1992年 9月 6日	小松市長谷	1 頭目撃	松井正人	
1978年 4月15日	小松市津波倉	1 頭	中山佐一郎	9024
1980年 4月16日	小松市東山	1 頭	中山佐一郎	9024
1980年 6月23日	小松市動山	1 ♀	中山佐一郎	9024
1990年 5月22日	小松市日用奥林道	1 ♂	中山佐一郎	9127
1979年 3月20日	小松市麦口	1 ♀	中山佐一郎	9024
1978年 4月 8日	小松市番場	1 頭	中山佐一郎	9104
1983年10月10日	小松市木場	1 ♀	中山佐一郎	9104
1980年 9月12日	小松市木場湯	1 ♀	中山佐一郎	9024
1991年 5月26日	小松市遊泉寺	1 幼目撃	松井正人	
1979年 4月23日	小松市蓮代寺	1 ♀	中山佐一郎	9024
1991年 4月23日	小松市茗ヶ谷	2 頭目撃	松井正人	
1992年 9月 6日	加賀市刈安山頂上	2 頭目撃	松井正人	
1985年 4月 6日	加賀市曾宇	目撃	吉村久貴	2052
1983年 4月 8日	加賀市曾宇寺尾観音	目撃	吉村久貴	2041
1985年 4月 6日	加賀市日谷	目撃	吉村久貴	2052
1983年 4月 8日	山中町我谷	目撃	吉村久貴	2041
1983年 4月 8日	山中町刈安山	目撃	吉村久貴	2041
1989年 6月 4日	山中町真砂	1 頭目撃	松井正人	

26 アオタテハモドキ

迷蝶。奥能登の小木駅前の花壇で採集されている。

1965年 8月29日	内浦町能登小木駅	1 ♂	額田豪郎	文 献 9039
-------------	----------	-----	------	-------------

27 リュウキュウムラサキ

迷蝶。奥能登の海岸に近い川岸で目撃、スケッチされている。他にも不確かな目撃記録が数例知られている。

1982年 8月 5日	珠洲市清水	1 頭目撃	松枝 章	文 献 1048
-------------	-------	-------	------	-------------

28 メスアカムラサキ

迷蝶。最近金沢市近郊の海岸防風林で採集された。

1991年 8月15日	内灘町内灘霊園	1 ♂	井村 光	文 献 2092
-------------	---------	-----	------	-------------

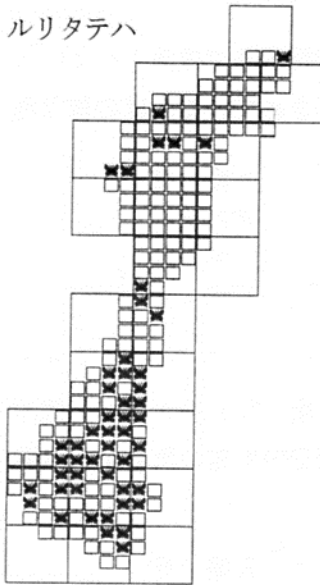
29 スミナガシ

能登地方に記録は少ないが、平地を除く県内全域に広く分布すると思われる。

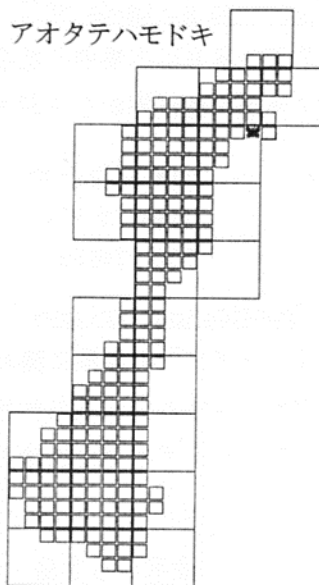
1965年 7月 3日	輪島市気勝山	1 頭	石畑	文 献 9054
1962年 7月30日	輪島市高洲山頂上	1 頭	日吉芳朗	9054
1989年 5月27日	輪島市坂田	1 頭	松井正人	
1965年 8月22日	輪島市善之谷内	1 頭	石畑	9054
1991年 6月 9日	門前町谷口	1 頭目撃	松井正人	
1988年 9月 3日	鹿島町石動山	1 ♀目撃	松井正人	
1992年 8月 8日	押水町宝達山	1 頭	松井正人	
1992年 8月22日	押水町宝達山山頂	1 頭目撃	松井正人	
1965年 5月20日	押水町末森山		砂山 博	1030
1990年 7月 8日	津幡町吉倉	幼虫	野中 勝	
1981年 6月20日	津幡町甲斐崎山	1 幼目撃	松井正人	
1990年 8月15日	金沢市医王山	3 幼(初齡)	目撃 松井正人	
1979年 6月15日	金沢市卯辰山	2 頭	金平永二	2010
1984年 7月14日	金沢市榎尾	1 頭目撃	松井正人・他	
1990年 7月 8日	金沢市下涌波	幼虫	野中 勝	
1972年 8月 5日	金沢市檜見	1 頭目撃	松井正人	
1972年 8月23日	金沢市菊水	1 頭	松井正人	
1981年 8月 6日	金沢市宮野	1 頭目撃	松井正人	
1985年 5月16日	金沢市金沢城跡	1 頭目撃	古見 克	1054
1990年 7月22日	金沢市山川	目撃	武藤 明	1057
1969年 6月 1日	金沢市大桑	1 頭	松井正人	
1971年 8月26日	金沢市湯涌	1 頭	松井正人	
1972年 8月 7日	金沢市栃尾	1 頭	松井正人	
1992年 7月 4日	金沢市菱池	1 幼目撃	松井正人	
1989年 6月12日	金沢市倭原	1 頭	上田 昇	
1980年 9月 5日	金沢市別所	1 頭目撃	松井正人	
1984年 9月 5日	金沢市甥杉	1 頭	澤田 博	
1991年 5月19日	河内村板尾	1 頭	松田俊郎	9124
1981年 8月25日	鳥越村鳥越城址	目撃	松田俊郎	2023
1984年 8月15日	白峰村三ッ谷	1 頭	吉村貴己・他	2050
1979年 7月 8日	白峰村市の瀬	1 幼	野中 勝	
1985年 9月22日	白峰村大嵐谷	多数幼目撃	松井正人	
1991年 8月24日	白峰村白山釈迦林道	1 頭目撃	勝海雅夫	

1991年 7月27日	白峰村百合谷	目撃	野中 勝	文 献
1981年 8月 5日	辰口町仏大寺	1 ♀	中山佐一郎	9104
1971年 8月24日	小松市ハニベ岩窟院	1 頭	小坂 巖	9104
1988年 6月 5日	小松市鞍掛山	1 ♂	中山佐一郎	9127
1986年 5月28日	小松市観音下	1 ♂	中山佐一郎	9105
1985年 5月30日	小松市原	1 ♂	中山佐一郎	9104
1980年 8月 7日	小松市光谷	4 ♂	中山佐一郎	9024
1983年 5月10日	小松市西俣	1 頭	中山佐一郎	9104
1977年 7月26日	小松市打木	1 頭	中山佐一郎	9104
1983年 8月14日	小松市中峠	1 頭目撃		9128
1986年 6月10日	小松市動山	1 ♂	中山佐一郎	9105

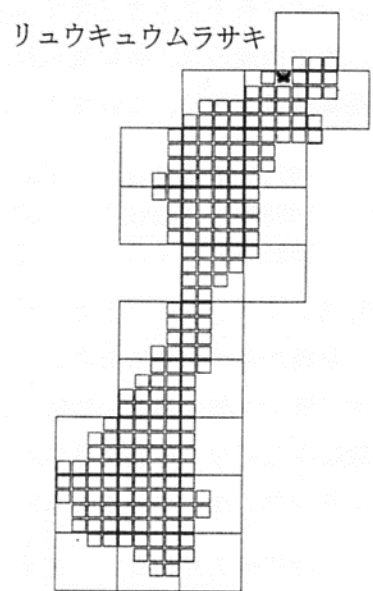
ルリタテハ



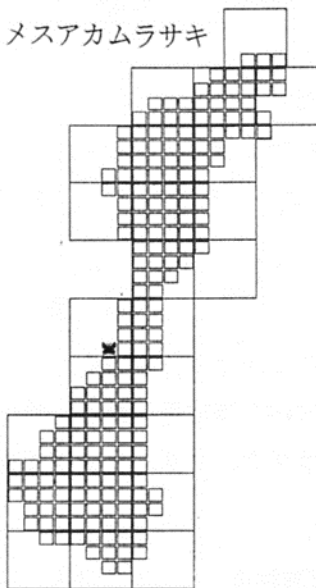
アオタテハモドキ



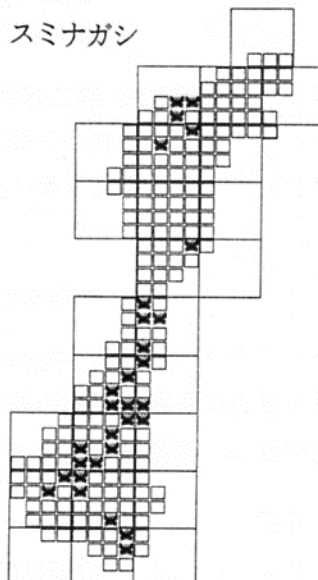
リュウキュウムラサキ



メスアカムラサキ



スミナガシ



《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

石川県のカミキリムシ科 (その13)

井 村 正 行

211. ネジロカミキリ Pogonocherus seminiveus BATES

平地からブナ帯まで広く分布し、ハウノキやタラノキの枯枝、伐採木等に好んで集まる。3月～8月に見られ、個体数も少なくない。飼育では秋に羽化脱出し、ホストとしてハウノキ、タラノキを確認している。

1979年3月18日	3頭	加賀市吉崎	入場 登
1980年5月25日	2頭	白峰村白山釈迦林道	井村正行

212. ゴイシモモブトカミキリ Callapoecus guttatus BATES

白山山麓のブナ帯に見られ、7月～8月に広葉樹の枯枝、伐採木等で採集されている。採集例は少なく、これまでハンノキ類の枯枝等から4頭が採集されているだけの稀な種。

1973年7月8日	1♂	白峰村白山別当出合	入場 登
1990年7月29日	1♂	白峰村大杉谷	井村正行
1992年7月4日	1♀	尾口村岩間	入場 登

213. スジマダラモモブトカミキリ Acanthocinus griseus FABRICIUS

平地からブナ帯に分布し、5月～9月までの長期に渡りクロマツ、アカマツ、ヒメコマツ等マツ類の新しい枯枝、伐採木、立枯木等に見られる。入場 登氏によると、個体数は少なくなき普通に見られるらしいが、平地では松林の薬剤空中散布のためか、以前より少なくなっているらしい。

1977年7月26日	1♀	金沢市倉ヶ岳	入場 登
1988年7月23日	1♂	加賀市黒崎	入場 登
1992年8月1日	1♂1♀	白峰村白峰	井村正行

214. ナカバヤシモモブトカミキリ Leiopus guttatus BATES

加賀市において、クロマツの新しい枯枝から採集された2例だけが知られている。詳細については入場 登(1990. 石川県産甲虫6種の観察, とっくりばち (56): 4-5)に報告されている。

1988年7月23日	2♀	加賀市黒崎	入場 登
------------	----	-------	------

215. ニセゴマダラモモブトカミキリ Leiopus masaoi TAMURA, S & T. TAMURA

ブナ帯に分布し、6月～8月に各種広葉樹の枯枝、伐採木等に見られる。特に新しい枯枝や倒木では普通に見られる。確認できたホストにはブナ、クリ、ヤチダモ等がある。

1979年6月10日	3♂	白峰村大杉谷	井村正行
1979年7月8日	2♀	白峰村白山釈迦林道	井村正行

216. ゴマダラモモトカミキリ Leiopus stillatus BATES

ゴマダラモモトカミキリが2種に分かれて以降、本種と思われる個体は確認していない。もしかすると本県には分布しないのかもしれない。

217. トゲバカミキリ Rondibilis saperdina BATES

白山山麓のブナ帯に分布し、7月～9月に各種広葉樹の枯枝、伐採木等に見られる。個体数はやや少ない。

1980年9月14日	1 ♀	白峰村白山釈迦林道	井村正行
1990年7月29日	1 ♂ 1 ♀	白峰村大杉谷	井村正行

218. ホオノキトゲバカミキリ Rondibilis sapporensis MATSUSHITA

低山からブナ帯に分布し、7月～8月にホオノキの新しい枯枝、伐採木に見られる。7月頃、ホオノキの新しい伐採木が多い所では、言われているほど少ない種ではない。

1973年7月7日	1 ♂ 1 ♀	金沢市倉ヶ岳	入場 登
1990年7月29日	5 頭	白峰村大杉谷	井村正行

219. キッコウモンケシカミキリ Exocentrus testudineus MATSUSHITA

低山からブナ帯に分布し、6月～8月に各種広葉樹の新しい枯枝、伐採枝に見られる。Exocentrus属としては、やや少ない。確認したホストにはハウノキ、カエデ、オニグルミ等がある。

1986年7月15日	5 頭	金沢市国見山	井村正行
1992年7月12日	3 頭	金沢市横谷	井村正行

220. ガロアケシカミキリ Exocentrus galloisi MATSUSHITA

平地からブナ帯に分布し、6月～7月に各種広葉樹の新しい枯枝、伐採枝に見られる。Exocentrus属としては、やや少ない。確認したホストにはクリ、カエデ等がある。

1979年7月3日	1 頭	金沢市倉ヶ岳	井村正行
1980年7月3日	3 頭	白峰村大杉谷	井村正行

221. アトモンマルケシカミキリ Exocentrus lineatus BATES

平地からブナ帯に分布し、6月～7月に各種広葉樹の新しい枯枝、伐採枝に見られる。普通種で、特にフジ、ニセアカシア、ネム等のマメ科に好んで集まる。確認したホストにはフジ、ニセアカシア、ネム等がある。

1979年7月3日	多数	金沢市大浜	井村正行
1981年6月30日	5 頭	金沢市土清水	井村正行

《いむら まさゆき 〒920-01 金沢市湊2-116-70》

石川県の甲虫3000種運動に2の貢献

野 中 勝

石川県の甲虫3000種運動は順調に進展している様子で、遠く離れてただ指をくわえている身にはうらやましい限りです。最近、我家に立ち寄ったゾウムシ屋さんに石川県産の雑甲虫を見てもらったところ、石川県未記録と思われる下記の2種を指摘されたので、3000分の2の貢献をと報告します。種名を御教示下さったゾウムシ屋さんこと東京の江本健一氏に感謝致します。

《カッコウムシ科》

ムネアカマルカッコウムシ *Allochotes dichrous* (Lewis)

1992年8月29日 石川県白峰村釈迦林道 1頭 野中 勝 採集

恥ずかしながらハムシと一緒に並べていたものを、江本氏に指摘された。従って採集時の記憶は全く無いが、当日はナイターしかしていないので燈火に飛来したものと思われる。

《ゾウムシ科》

フトアナアキゾウムシ *Dyscerus gigas* (Kono)

1990年6月2日 石川県金沢市倉ヶ岳 1頭 野中 勝 採集

これまた採集時の記憶は皆無であるが、当日はフチグロヤツボシカミキリの採集を目的に、夕方倉ヶ岳を訪れたことが記録されている。

将来的に総ての甲虫が、石川県の虫屋の手によって同定できる様になるのが理想であるが、現状では採った虫をいかに専門知識を持った人の目に触れさせるかというのが、重要な課題になっていると思われる。

《のなか まさる 〒458 名古屋市緑区鳴海町伝治山1-2タウン伝治山9-206》

キノコ周辺で得られた石川県初記録の甲虫その2

松 井 正 人

キノコ周辺には石川県未記録種が多く、前号報告以後、更に以下の種を記録したので報告する。

なお、標本の作成から同定に至る最も困難な過程は、前回同様すべて高羽正治氏にお願いした。氏のなみなみならぬ御協力に深謝したい。

《チビシデムシ科》

タカオオニニセチビシデムシ *Ptomaphagus takaosanus* Nakane

1993年10月21日 白峰村市の瀬 1頭 松井正人 採集

《デオキノコムシ科》

アカミケンデオキノコムシ Scaphisoma rubrum Reitter

1993年10月16日 白峰村太田谷 3頭 松井正人 採集

《ハネカクシ科》

カバイロハバビロハネカクシ Megarthus heterops K.Sawada

1993年9月26日 志賀町五里峠 1頭 松井正人 採集

ハネスジキノコハネカクシ Carphacis striatus Olivier

1993年9月26日 志賀町五里峠 1頭 松井正人 採集

ヤマトヒラタキノコハネカクシ Gyrophana niponensis Cameron

1993年8月16日 金沢市戸室山 1頭 松井正人 採集

オオメヒラタキノコハネカクシ Gyrophana appendiculata Motschulsky

1993年9月19日 富来町三明 1頭 松井正人 採集

ツヤヒラタキノコハネカクシ Gyrophana laevior Cameron

1993年8月29日 鹿島町石動山 1頭 松井正人 採集

ミイロチビハネカクシ Phymatura oligotinula Sharp

1993年8月16日 金沢市戸室山 1頭 松井正人 採集

クロズシリホソハネカクシ Tachyporus celatus Sharp

1993年8月29日 鹿島町石動山 2頭 松井正人 採集

ハラモンムネクボハネカクシ Ditropalia varipes Sharp

1993年9月12日 白峰村大嵐山 1頭 松井正人 採集

《ネスイムシ科》

ヤマトネスイ Rhizophagus japonicus Reitter

1993年10月16日 白峰村太田谷 1頭 松井正人 採集

《ツツキノコムシ科》

スエヒロタケツツキノコムシ Orthocis schizophylli Nakane et Nobuchi

1993年9月12日 白峰村大嵐山 1頭 松井正人 採集

《ホソカタムシ科》

ツヤケシヒメホソカタムシ Microprius opacus Sharp

1993年10月21日 白峰村市の瀬 4頭 松井正人 採集

《キクイムシ科》

カラムツアトマルキクイムシ Dryocoetes karamatsu Sawamoto

1993年10月16日 白峰村白峰 1頭 松井正人 採集

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

京都府立植物園でアサギマダラの夢を見た

松 井 正 人

京都はキンモクセイの心地良い香りに包まれていた。今日の狙いは、府立植物園「半木（なからぎ）の森」見学。京都の原生植生を現在に伝える貴重な森との事で、今回の旅行の目的のひとつになっていた。

府立植物園は地下鉄も止まる街の中にありながら、総面積は24haとたいそう広い。しかも総て平地で、ここに見上げるような大木が茂り、大きな森がある。近年、平地林は社寺林や屋敷林でしか見る機会がないようで、しかも24ha程の広さとなるとそう簡単にはお目にかかれない。この中には「半木の森」をはじめ「植物生態園」「洋風庭園」「沈床花壇」等があり、テーマ別に森や庭園を楽しむことができる。「針葉樹の森」などは、タイワンスギやヒマラヤスギ、シュードツガ等の大木がうっそうと茂り、メキシコアンガンゲオのオオカバマダラの集団越冬地を思わせるようであった。反面、「半木の森」は小さく、人の出入りも多いせいか、「原始の森」をイメージさせるものではなかった。

「植物生態園」では日本各地の山野に自生する植物が、自然に近い状態で見る事ができる。そこで、北陸では見られない蝶の食樹を名札を頼りに覚えていると、「シタキソウ」の名札が目に入った。薄暗い所でスギに絡み付いている。「アサギマダラの食草だ」との思いが頭をかすめる。すると円痕らしきものが目に入り、ポツポツと4か所に穴が空いているのがわかった。目の高さから下に葉は無く、それから上にオオカモメヅルに似た葉がついている。一番下の葉は何者かに葉縁も食べられ、円痕はそこからポツポツと3m位の高さまで見られた。幼虫が見付からなかったのは残念だが、これはアサギマダラのものに間違いないだろう。

北陸ではなかなか見付からないアサギマダラの幼虫達、こんな街の中にもいるのかと思うと楽しくなってきた。もし自宅が近いなら、毎日でも観察にいける。他にもシタキソウがあつて、そこには幼虫がいるかも知れない。幼虫は大きな終齢かも知れない。シタキソウは常緑だから、越冬幼虫が見付かるかも知れない。等と夢はどんどん膨らんでいったが、「ここは京都の植物園」との思いが針の様に湧いてきて、パチンとはじけてしまった。しかし金沢にも似たような植物園が無い訳ではない。金沢城内の植物園は面積こそ1haに過ぎないが、ほどよく管理され虫もたくさん見られる。アサギマダラを目撃記録だってあるし、自由に出入りもできる。県内には常緑のガガイモ科はないが、ここにこっそりキジョランやシタキソウでも植えておくと、そのうち幼虫が見付かるかも知れない。そして冬期間の幼虫も観察できるかも知れない。北陸での幼虫越冬は可能……。さて、夢の続きは金沢で見るとしよう。

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

自 己 紹 介

高 田 兼 太

自 宅：〒920-11 金沢市若松町警備野3番地 山本和男方 TEL：22-7034
 職 業：金沢大学理学部生物学科1年 1974年生まれ 血液型：B

昆虫生態学を学びたくて、はるばる大阪からやってきました。まだ、特定の虫のコレクションを行っているわけではありませんが、私なりにいろいろと虫を集めています。今、特に興味を持っている虫は、カマキリ、ハンミョウ、そしてカマキリモドキです。金沢に来てからは、夜、角間キャンパスの灯火を見回りに行ったり、飼育ケースを部屋の中に堂々と置いたりするといったような、大阪の自宅ではできなかったことができるようになりました。また、大学では中村先生の昆虫生態学研究室にお邪魔できたり、林業試験場では虫キチには答えられないような趣味と実益を兼ねたアルバイトができ、更には百万石蝶談会にも入会できたりして、非常に充実した生活を送っています。

しかし、ひとつだけがっかりしたことがあります。というのは大学のクラスで「昆虫をやろう!」という友達がいなかったということです。小中学校の時に、高校の生物部の時に、ほとんど1人で虫採りをしていましたので、一緒に感動してくれる友達がいると期待して金沢大学にやって来たのですが、...

私が、採集した中で最も珍しいものは、緑色型コカマキリです。最初に捕まえた時は、ハラビロカマキリではないかと思いましたが、前肢の模様を見た瞬間にコカマキリとわかり、今までにない感動を覚えました。それから私は、カマキリの全てに興味をもつようになり、飼育観察などを行うようになりました。

最後に、私が虫キチになったエピソードについて書きたいと思います。3歳ぐらいの頃、私は異常に虫嫌いだったそうです。もちろん記憶にはありませんが、...。父は、「せめて虫ぐらいは恐がらないように」と家の近くの河原に私を連れて行き、手にコオロギを握らせたそうです。それからというもの、昆虫ばかりでなく動物全般が好きになっていったそうです。もし、この出来事がなかったなら、虫キチの私がここにはいなかったと思います。

ここ石川に来てまだ1年にも満たないので、この辺の昆虫採集ポイントについては、ほとんど知りませんし、採集経験もわずかですので、いろいろなことをこの会で学んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

《たかだ けんた 〒920-11 金沢市若松町警備野3番地 山本和男方》

動きだしたら止まらない
メスジプロジェクトが動
きだしている。こうなるとど
うせ池の中は濡れるからと、
雨が降ろうが、風がふこうが
調査は計画どおりに進められ
ている。

曲池の時は雪が降り、池は
シャーベットになっていたが、
もう調査はどうにも止まらな
かった。

動植物界も狂った天候不順
梅雨が明けなかった異常な
長雨、季節外れの台風襲来、
涼しい夏、米作も戦後最悪と
なった今期の気候はメチャク
チャ。これでは動植物の季節
感がズレても当然。寒いのに
ワサビが咲き、メスグロヒョ
ウモンは越冬を忘れてしまっ
た。この影響は今期に留まら
ず、来期にも及びそうだ。

異常低温が北上を妨げた？
アサギマダラの再捕の話で
もちきりだ。それもそのはず
一度に八例もの記録が生れ、

四例までもが比良山でマーク
されたものだった。比良山で
のマーク総数は千二百十六頭
とものすごい。

ところが石川県では、その
姿をほとんど見なかった。例
年では簡単に三桁は見られる
宝達山でも今年はたったの九
頭しか確認していない。

今年は戦後最大級の冷夏。
アサギマダラは途中で北上を
やめてしまい、その分南の方
は濃かったのかも知れない。

高田君は甲虫の道を歩むか
超若手の新入会員に甲虫の
道を歩かせようと、井村会長
は、高田君を洞窟へ誘った。
本人は大層気に入ったとみえ、
その後は一人で洞窟探検を楽
しんでいる。会長の目論はひ
とまず成功か。

関野鼻でシルビアシジミ！
岬近くのカケで多数のヤマ
トシジミに交ざり一雄が採集
されている。この付近、最も
海寄りにミヤコグサが見られ、
海岸線に沿ってかなり広範囲

に分布しているので、ひよつ
とすると広く生息しているか
も知れない。もちろんこの記
録は石川県初で、分布の北限
にもあたる。

一九九二年八月十八日 一
富来町関野鼻 小松清弘採集
蝶研フィールド九十二より

屋久島はスギの島だった
クモ屋の徳本氏、ジョロウ
グモの調査に屋久島へ渡った
ものの、毎日ドシャブリ。昆
虫をお土産にしようと思集道
具をそろえていったものの、
何にも採れず。ただスギには
圧倒されたらしく、土産はス
ギの話ばかり。

ゲンゴロウウオッチング
水面に浮いているゲンゴロ
ウが見たくて出かけたが、十
一月の夜ともなると吐く息が
白い。水面を照らしても何も
見えず、ジャブジャブと池に
入り、中をのぞき込む。マツ
モムシが暇そうに浮かび、ヒ
メゲンハは忙しそうに動き回っ
ている。コオイムシやヤゴは

ほとんど動かず、ガムシはゆ
っくり動いていた。足下から
冷たさが忍び寄る頃、シャー
プがスイスイ泳いできて、歓
声が上がった。

例会の記録

十月一日(金)城南管工二
階にて八時より開催。

まずは「九月二十三日上野
俊一氏と行く洞窟ツアー」の
話で盛り上がり、プロの技術
はすごい、勘は鋭い、トラッ
プは違う、参加して良かった
等々と話は尽きなかった。そ
の後の雑談は、アップルから
パソコン、衛星通信、リピー
ター、スカウトマン、バタフ
ライファーム、ゼフィルスの
森、中国の蝶と自然、渡辺康
之、一冊謹呈・・・と留処が
無かった。

また、今回は新入会員三人
が初顔見せなので、十一時か
ら自己紹介が始まった。

参加は、生田、江崎、高田、
(以上新入会員) 山岸、徳本、
中西、井村、嵯峨井、指田、
松井、竹谷の十一人。

会員の動き・しやばの動き

石川県地質図一九九三

昆虫相を知るには植物相を知る必要があり、植物相を知るには地質図が必要になってくる。キゴ山や戸室山でギフチョウを探していたあなた、地質図さえあれば、そんなバカなことはいらないで済む。

このナチュラリスト必携地質図が、装いを新たに編集された。編者は前回同様カセ野義夫氏。地質図・地質誌セツト価格が一万六千円、地質図だけなら八千円のお買い得商品。問い合わせ先は北陸地質研究所。☎2419448

メスジプロジェクト始動

富山と福井で高地性のゲンゴロウが採れている。そこで標高千米から二千米の池、二十数箇所がピックアップされ、

調査が始められた。池にたどりつくにはほとんどがヤブコギで、体力と土地勘が重要ポイントとなるが、中西、井村、松井、上田の連携プレーでなんとかなるだろう。

江口氏、無理が祟って入院

昆虫ならなんでも手を出す江口氏、採集量も当然膨大となる。それを総て整理するとなると気が遠くなるが、氏は日々実践していた。しかしやはり無理がたたったのか調子を崩して入院。それでもこっそり抜け出して、標本の整理をしているらしい。

上野俊一氏、金沢に来たる

洞窟ゴミムシのニューを採集すべく、上野俊一氏が来沢し、県内のゴミムシ好きも参加して洞窟ツアーが行われた。

上野氏には地下のゴミムシが見えるかのようで、「ここだ」と掘ればメクラゴミがどんどん出てきた。これには、さすがのゴミムシ好きも唖然となり、プロのすごさをアリアリと見せつけられた。

佐渡に渡ってコブタタキ

コブ好きの江崎氏、公費でコブヤハズ4種を飼育している。更にサドコブをも飼育せんと十月十日に佐渡に渡り、あちこち叩いてきたらしい。現在めでたく5種を飼育している。

ドーナガでドークツ

再びドークツ通いが始まった井村会長、メクラチビ採集のかたわら、溜り水でヨコエビをすくってきた。これがなんと専門家も大喜びするメクラヨコエビで、国内でまだ数頭しか採れていない代物。これに気を良くした会長、今度はドーナガで行くと言う。メクラゲンゴロウでも採れると良いのだが。

翔

NO.105

1993年12月1日発行

百万石蝶談会

金沢市大場町東871-15 松井方

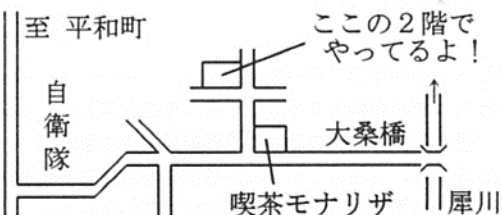
〒920-01 ☎0762-58-2727

郵便振替 金沢5-562

印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月の第1金曜日8時から

TEL参加もOKです(0762-44-3318)



目 次

松井正人：石川県のタテハチョウ7	1
井村正行：石川県のカミキリムシ科（その13）	5
野中 勝：石川県の甲虫3000種運動に2の貢献	7
松井正人：キノコ周辺で得られた石川県初記録の甲虫その2	7
松井正人：京都府立植物園でアサギマダラの夢を見た	9
高田兼太：自 己 紹 介	10
編 集 部：会員の動き・しゃばの動き	12